

公共交通沿線への居住推進 中心市街地の活性化

まちなか・公共交通沿線を
市民にとって
魅力的にするための施策

魅力的で人々に選ばれる街とは



- 働き口があり、地域経済が活発で持続的な街
- 安全で安心でき、年をとっても自立して生活できる環境のある街
- 楽しい、美味しいが身近にあり、お洒落で文化的な街
- 子育てがしやすく、教育環境&レベルが望ましい街

公共交通沿線への居住推進～都心地区・公共交通沿線居住推進地区～



- ・中心市街地活性化基本計画において、
約436haの中心市街地(都心地区)を位置づけ
- ・都市マスタープランにおいて、
富山駅を中心とした19の公共交通軸と
約3,489haの公共交通沿線居住推進地区
を位置付け

■路線

- ・鉄軌道全て(6路線)
- ・頻度の高いバス路線(13路線)
(1日概ね60本以上(往復))

■エリア

- ・用途地域内における
駅勢圏、バス停圏
(圏域)
鉄軌道駅圏は500m
バス停圏は300m

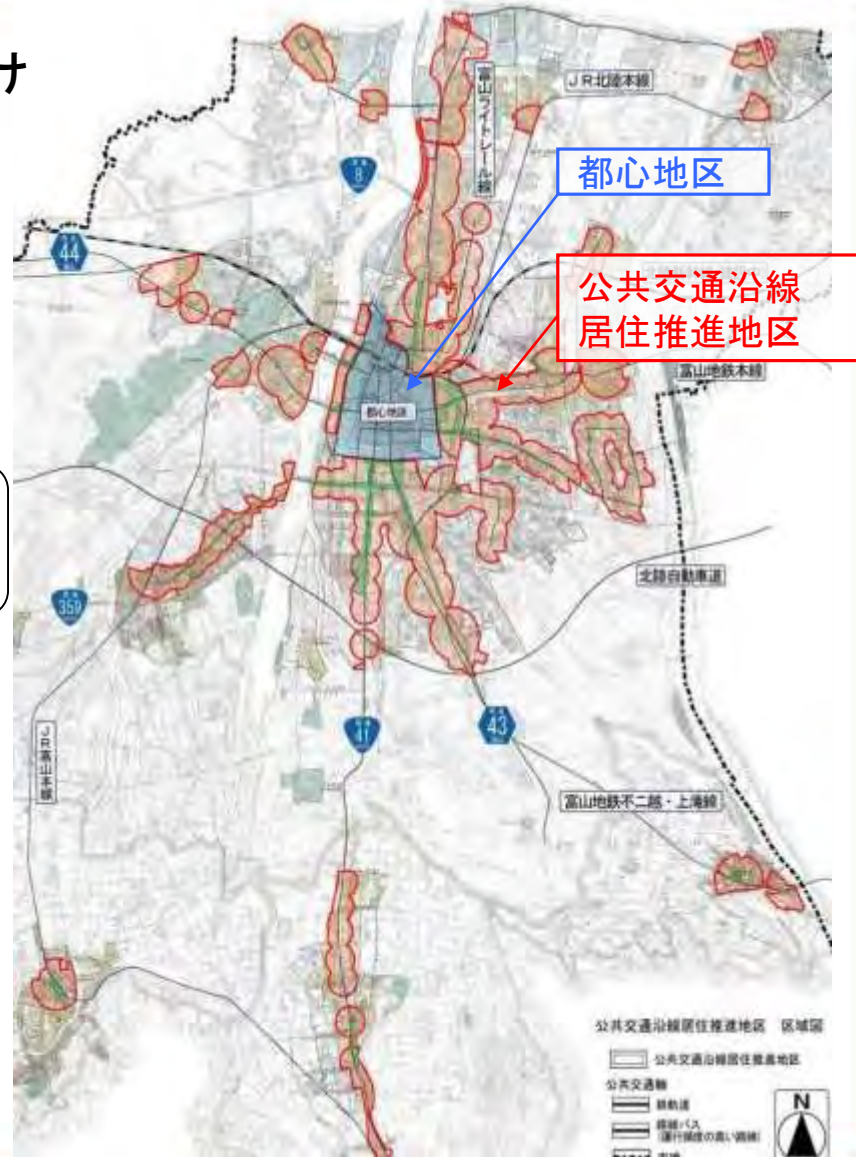
上記地区内の居住を推進するため、良質な住宅の建設事業者や住宅の建設・購入する市民に対して助成

■まちなか居住推進事業(H17.7～)

- ・共同住宅:100万円/戸 ・戸建住宅:50万円/戸等
- 実績:**702件 1,417戸** 308,839千円(H17.7～H26.3)

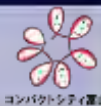
■公共交通沿線居住推進事業(H19.10～)

- ・共同住宅:70万円/戸 ・戸建住宅:30万円/戸等
- 実績:**438件 946戸** 584,326千円(H19.10～H26.3)



グランドプラザの整備

平成19年9月オープン



積雪寒冷地の気候にも配慮し、賑わいの核となる全天候型の多目的広場を整備
年間81.9%(休日:100%、平日:73.4%)がイベント等で利用されている。(平成25年度実績)



・事業主体
富山市

・工事期間
H18.5～H19.8

・事業費
約15.2億円

・施設概要
施設面積:
約1,400㎡
(65m×21m)
天井までの高さ:
約19m
大型映像装置:
約277インチ

グランドプラザの利用状況

▶ エコリンク



◀ 幼稚園児によるフットサル大会



▶ 市役所職員によるバンド演奏

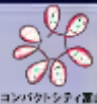


◀ 蚤の市(コマルシェ)



地場もん屋総本店

平成22年10月オープン



市内全域の地元農林水産物の情報発信と販売促進を図るための拠点として、「地場もん屋総本店」を中心市街地に整備

■地場もん屋総本店の概要

整備:富山市

運営:(株)まちづくりとやま

営業時間:通年(年末年始を除き無休)
午前9時30分～午後6時30分

利用実績:来店者数 約24万人(H25年度実績)

売り上げ:約1億9千9百万円(H25年度実績)

加盟店舗:180店舗



～富山とれたてネットワークの推進～

■誘客状況(2013年度アンケート調査)

- ・利用者の年齢は60歳以上が50%以上を占める。
- ・来店方法は、徒歩・自転車約50%を占める。
- ・利用者の60%以上が、週に1回以上利用している。



継続的に学生が地域活動に参加する仕組みとして、空き店舗を活用し、
大学生等のまちなかでの活動拠点を整備

■富山まちなか研究室の概要

事業主体：(株)まちづくりとやま

利用時間：13時～21時（平日）、11時～19時（土日祝日）

利用実績：延べ12,868人（39人/日）（H25年度実績）
（大学ゼミ、団体利用、MAG.net主催イベント等）



■学生まちづくりコンペティション 2012, 2013, 2014

まちなかを盛り上げる学生提案の企画を募集、公開プレゼン
テーションを経て事業採択し、提案団体と企業・商店主等
との協働により事業を実施。（2013実績：19団体から提案があり11事業を採択）

学生と商店主・住民等の交流



学生による音楽ライブ



まちなか塾(大学生が小学生の宿題のお手伝い)



魅力ある都市景観の形成

■ 街路景観を演出するハンギングバスケット、バナーフラッグ等の設置

